

【様式 1－1】

朝日町 道路施設長寿命化修繕計画
(道路施設個別計画)
公表資料

令和 6 年 3 月

朝日町 産業建設課

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

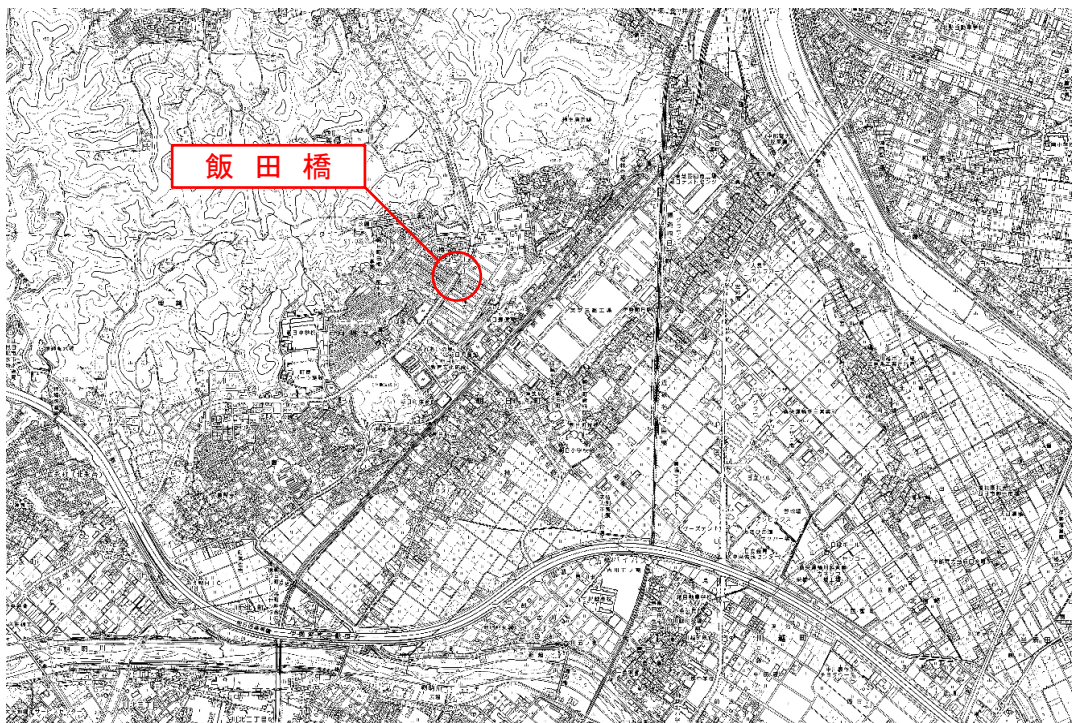
- 朝日町が管理する横断歩道橋は、飯田橋1橋であり、橋長L=20.9mである。
- 飯田橋は2006年に建設され、現時点で18年が経過している状況である。
- これまでの維持管理は、損傷が深刻な状態に陥った段階で、大規模な修繕や架替えるなど、事後的に修繕を実施する対症療法型の手法がとられてきた。
- 今後、従来 of 事後的な維持管理では維持管理に係る費用が膨大となり、利用者への安全性を確保するための適切な維持管理の継続が困難となり、結果として道路サービスの低下に繋がることが予想される。
- 平成26年度に改定された道路法に法り、全管理橋を5年毎に点検を行う。

2) 目的

- 安全性や信頼性を確保した道路サービスの提供を目的に、長寿命化修繕計画を策定し、従来 of 事後的な維持管理から予防的な修繕および計画的な架替えを実施する、予防保全型へと管理手法の転換を図る。
- 長寿命化修繕計画に基づき、横断歩道橋の長寿命化並びに維持管理費用の縮減を図る。

2. 長寿命化修繕計画の対象施設

名 称	所 在 地	路 線 名	延 長 (m)	建 設 年 度	供 用 年 度	点 検 年 次	備 考
飯田橋	朝日町白梅の丘西 二丁目	町道朝日中央 線	20.9	2006	18	2023	



▲ 位 置 図

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

- 健全度の把握は、朝日町橋梁点検要領（案）に基づく点検を定期的を実施し、橋梁の損傷状況を踏まえ継続的に健全度の把握を行う。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

- 横断歩道橋を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール等の実施を徹底して行う。

4. 対象施設の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

1) 長寿命化修繕計画の基本方針（対策の優先順位）

- 横断歩道橋の損傷が深刻な状態に陥った段階で、大規模な修繕や架替えを実施する対症療法型の維持管理から、定期的に点検を行い、損傷が深刻な状態に陥る前に修繕を実施する予防保全型へと維持管理手法の転換を図ることで、横断歩道橋の寿命を延ばすことが可能となり、修繕および架替えに係る維持管理費用の縮減に努める。
- 対策の優先順位は、令和5年度に実施した法定点検の結果に基づく健全度が悪い径間から優先的に修繕工事を実施する方針とする。

【令和5年度の点検結果】

横断歩道橋名	健全度の最悪値	優先順位
飯田橋	I	健全性の悪い径間から実施

	区分		定義
	I	健全	横断歩道橋の機能に支障が生じていない状態。
	II	予防保全段階	横断歩道橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	III	早期措置段階	横断歩道橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
	IV	緊急措置段階	横断歩道橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

▲〈参考〉健全度の評価内容

2) 費用削減や事業の効率化に向けた取り組み

○ 集約化・撤去等による費用縮減

社会経済情勢や施設の利用状況の変化、施設周辺の道路の整備状況に応じ、道路橋・横断歩道橋を含めた全管理橋梁に対して、橋梁の集約化・撤去および機能縮小などによる費用縮減に取り組むこととし、令和10年度までに1橋程度の集約化・撤去等の検討を行います。

また、集約化・撤去により点検・維持修繕に伴う費用として約50万円の縮減を目指します。

なお、令和2年度に1橋の撤去を実施し、将来の維持管理に係る費用縮減を実施しました。

○ 新技術・新材料の活用

今後、定期点検の効率化や高度化、修繕等の措置の省力化や費用縮減を図るために新技術等の活用について検討することとし、管理する橋梁における向こう5年間の修繕や点検等において、新技術等の活用を目標とします。

○ 新技術の活用によるコスト削減の目標

朝日町では、道路橋・横断歩道橋を含めた全管理橋梁に対して、橋梁の新技術活用によるコスト削減額目標値として、令和10年度までの5年間で約20万円のコスト削減を目指します。

3) 業務の効率化に向けた取り組み

飯田橋の維持管理について、以下の現場作業を用いて点検業務の効率化を図ります。

回転式打音点検器は、打点ピッチが均一的に線・面で連続した作業が可能で、狭隘な箇所でも打音作業が可能となり、打音作業の効率化や品質の向上が図られる。

伸縮棒の活用は、格子等を用いた高所の目視困難箇所のスクリーニングが可能になるため、作業時間の低減と効率化が図られる。

また、三重市町橋梁管理システム等を活用し、点検結果の取りまとめや長寿命化計画に係る作用の省人化・省力化を行うとともに、ヒューマンエラーの低減により業務の効率化が図られる。

5. 対象施設ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

1) 次回定期点検時期

- 定期点検とは、予め一定の期間を定めて行うもので、朝日町橋梁点検要領（案）に基づき、5年に1回の頻度で実施することを基本とする。

2) 修繕計画（計画期間）

- 令和6年度からの向こう10年間の対象施設における年度別の横断歩道橋数と対策費は次の通りである。なお、本表に示す数値は修繕計画により想定したものであり、事業実施に係る数値とは異なるため、適宜見直しを行う。

	令和6年度 計画	令和7年度 計画	令和8年度 計画	令和9年度 計画	令和10年度 計画
修繕＋点検＋長寿橋梁数	0	0	0	0	2
修繕対策費（千円）	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
橋梁点検・長寿命化対策費(千円)	[0]	[0]	[0]	[0]	170[2]
合 計（千円）	0	0	0	0	170

※ []内の値は、対象となる施設数（重複含む）である。

	令和11年度 計画	令和12年度 計画	令和13年度 計画	令和14年度 計画	令和15年度 計画
修繕＋点検＋長寿橋梁数	0	0	0	0	2
修繕対策費（千円）	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
橋梁点検・長寿命化対策費(千円)	[0]	[0]	[0]	[0]	170[2]
合 計（千円）	0	0	0	0	170

※ []内の値は、対象となる施設数（重複含む）である。

6. 計画策定担当部署

1) 計画策定担当部署

三重県 朝日町 産業建設課 tel 059-377-5658